

平成 28 年度農作物病害虫発生予察注意報第 1 号

平成 28 年(2016 年) 4 月 21 日
山 口 県

病害虫名 タマネギべと病

1 発生地域 県内全域（中生及び晩生品種）

2 発生程度 多

3 注意報の根拠

- (1) 2月29日に注意報、3月16日及び4月18日に技術資料を出したところであるが、今後もさらに増加が見込まれる。
- (2) 4月中旬に実施した巡回調査では、発生ほ場率48.1%（平年2.3%）、発病株率6.1%（平年0.5%）で、発生は過去10年間で最も多かった。
また、当調査の発生ほ場率は3月下旬の14.3%と比べ急増した（図1）。
- (3) 4月21日に福岡管区气象台より発表された1か月予報では、降水量は多い見込みであり、本病の発生に好適である。

4 防除方法

- (1) 5月中旬頃まで新葉の展開に合わせて7日～10日間隔で定期的に防除を実施する。
- (2) 新たに発生したほ場及び発病の増加が認められるほ場では、治療効果のある薬剤（殺菌剤コード4、40等を含む薬剤）を散布した後、他剤に切り替える。
- (3) これまでの薬剤の使用履歴を確認し、使用回数及び使用時期を考慮しながら同一系統の薬剤を連用しないよう注意する（表1）。
- (4) 今後の降雨に備え、ほ場の排水を良好にする。

5 防除上注意すべき事項

- (1) 薬剤の付着をよくするため、水和剤には展着剤を加用し、十分な量を丁寧に散布する。
- (2) 適正な薬剤散布作業の実施、農薬使用基準の遵守など安全で効果的な防除に努める。
- (3) 耐性菌発生防止のため、異なる殺菌剤コード(FRACコード)の薬剤を輪番使用する(表1)。

【参考】殺菌剤コード（FRACコード）とは？

殺菌剤の有効成分を作用点と作用機構から分類した番号や記号のこと。

本コードが異なる薬剤を使用することで、同一系統の薬剤の連用を防ぐことができる。

※表1「タマネギべと病の主な防除薬剤一覧」の「殺菌剤コード」欄参照

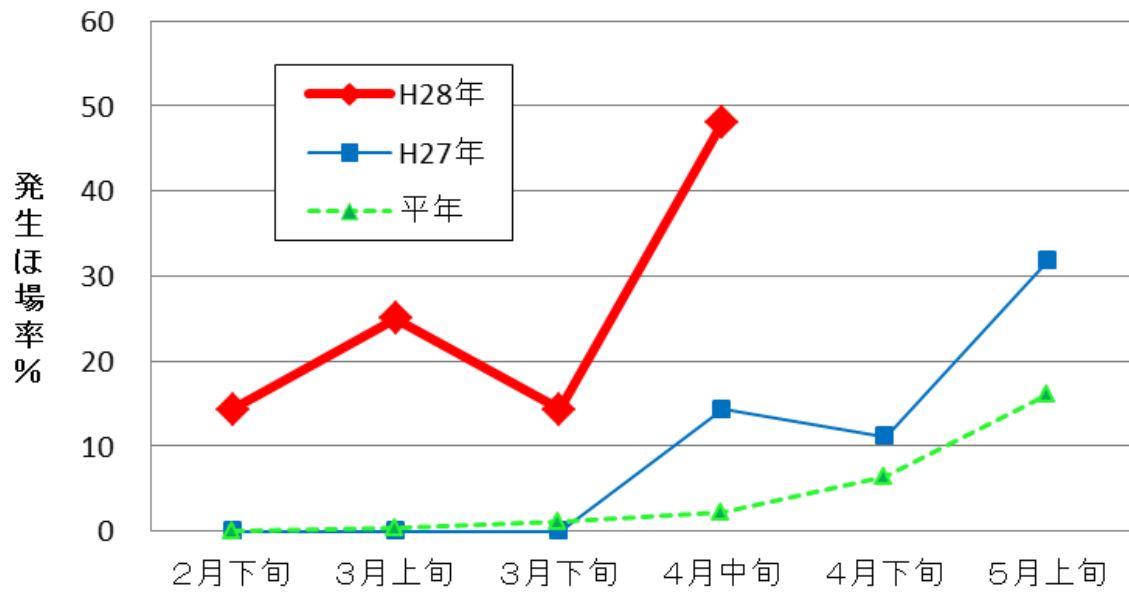


図1 タマネギベと病の発生推移



タマネギベと病の二次感染症状



病斑の拡大（病原菌のカビが見られる）

表1 タマネギべと病の防除薬剤一覧（平成28年4月現在）

系統	殺菌剤コード	一般名	商品名	希釈倍数・使用量 散布流量	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	使用方法	成分含む 使用回数
アミド、-	4 M5	メタラキシルM・TPN水和剤 3.3,3.2%	フォリオゴールド(普)	800~1000倍,100~400リットル/10a	収穫7日まで	3回以内	散布	メタラキシル及びメタラキシムM4回以内(種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)、TPN6回以内
有機硫黄、アミド	M3 4	マンゼブ・メタラキシルM水和剤 64,3.8%	リドミルゴールドMZ(普)	1000倍、100~300L/10a	収穫7日まで	3回以内	散布	マンゼブ5回以内、メタラキシルおよびメタラキシムM4回以内(但し、種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)
-、-	27 40	シモキサニル・ベンチアバリカルブイソプロピル水和剤 24,10%	ベトファイター顆粒水和剤(普)	2000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	シモキサニル3回以内、ベンチアバリカルブイソプロピル3回以内
-、-	40 M5	ベンチアバリカルブイソプロピル・TPN水和剤 5.50%	プロボーズ顆粒水和剤(普)	1000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ベンチアバリカルブイソプロピル3回以内,TPN6回以内
アミド	40	マンジプロバミド水和剤 23.3%	レーバスフロアブル(普)	2000倍,100~300リットル/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	マンジプロバミド2回以内
-、有機硫黄	40 M3	ベンチアバリカルブイソプロピル・マンゼブ水和剤 3.75,7.0%	カンパネラ水和剤(普)	750倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ベンチアバリカルブイソプロピル3回以内、マンゼブ5回以内
アミド、-	43 40	フルオピコリド・ベンチアバリカルブイソプロピル水和剤 33,12%	ジャストフィットフロアブル(普)	3000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	フルオピコリドは3回以内、ベンチアバリカルブイソプロピル3回以内
-、-	45 40	アメクトラジン・ジメトモルフロアブル水和剤27.0%、20.3%	ザンプロDMフロアブル(普)	1500~2000倍、100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	アメクトラジン3回以内、ジメトモル3回以内
アミド、-	7 M5	ベンチオピラド・TPN水和剤6.4,4.0%	ベジセイバー(普)	1000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	ベンチオピラド4回以内,TPN6回以内
ストロビリン	11	アゾキシストロビン水和剤 20%	アミスター20フロアブル(普)	2000倍,100~300リットル/10a	収穫前日まで	4回以内	散布	アゾキシストロビン4回以内
ストロビリン、-	11 M5	アゾキシストロビン・TPN水和剤 5.1,4.0%	アミスターオプティフロアブル(普)	1000倍,100~400リットル/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	アゾキシストロビン4回以内,TPN6回以内
ストロビリン、アミド	11 7	ピラクロストロビン・ボスカリド水和剤 6.7,26.7%	シグナムWDG(普)	1500倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ピラクロストロビン4回以内(定植前は1回以内、定植後は3回以内)、ボスカリド4回以内(定植前は1回以内、定植後は3回以内)
-ストロビリン	27 11	シモキサニル・ファモキサドン水和剤 30,22.5%	ホライズンドライフロアブル(普)	2500倍,100~300リットル/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	シモキサニル3回以内、ファモキサドン3回以内
-	21	シアゾファミド水和剤 9.4%	ランマンフロアブル(普)	2000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	シアゾファミド4回以内
-、天然物由来	21 27	アミスルブロム・シモキサニル水和剤 17,30%	ダイナモ顆粒水和剤(普)	2000倍,100~300リットル/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	アミスルブロム3回以内、シモキサニル3回以内
-、-	27 M5	シモキサニル・TPN水和剤 24,6.0%	プリザード水和剤(普)	1200倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	シモキサニル3回以内,TPN6回以内
-	29	フルアジナム水和剤 50%	フロンサイド水和剤(普)	1000~2000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	フルアジナム6回以内(但し、苗根部浸漬は1回以内、散布は5回以内)
アミド、-	43 28	フルオピコリド・プロバモカルブ塩酸塩 5.5,5.5%	リライアブルフロアブル(普)	500倍,100~300リットル/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	フルオピコリド3回以内、プロバモカルブ塩酸塩 2回以内
銅	M1	銅水和剤 84.1%	ドイツボルドーA(普)	500~1000倍,100~300リットル/10a	-	-	散布	-
		ノニルフェノールスルホン酸銅水和剤 40%	ヨネボン水和剤(普)	500倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅5回以内
有機硫黄	M3	マンゼブ水和剤 80%	ジマンダイセン水和剤(普)	400~600倍,100~300リットル/10a	収穫3日前まで	5回以内	散布	マンゼブ5回以内
			ベンコゼブ水和剤(普)	400~600倍,100~300リットル/10a				
-	M5	TPN水和剤 40%	ダコニール1000(普)	1000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	6回以内	散布	TPN6回以内